



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和2年3月31日

岡山市長 大森 雅夫 様

ソウメイガックレンゴウジシュボウサイカイ
フリガナ 団体名 操明学区連合自主防災会
所在地
連絡先
フリガナ 代表者役職・氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	操明学区防災フロント（最前線）事業
事業実施区域 (小学校区)	岡山市中区 操明小学校区
① 事業実施内容	1) 学区単位防災会で持続可能な防災・減災の協働組織完成。 2) 単位防災会での要配慮者避難連絡網、見守り体制の完成。 3) 町内会以外の受入体制と非常時連絡網の完成。 4) 企業との提携・連絡網の作成・周知。 5) 単位自主防災会の新役員研修会充実。 ※事業実績を示す写真（事業内容ごとに2枚程度）、作成した報告書やチラシ等を添付してください。 アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。
② 解決を目指した課題	1) 協働団体＝持続可能な協働連帯組織のマニュアル作成へ。 2) 避難活動要配慮者＝避難を円滑に進めるための研修・訓練。 3) 避難場所＝円滑運営の見直し・町内会以外の受入体制。 4) 企業提携＝提携ルール・連絡網の作成・周知 5) 人材育成＝各班(仕事別)防災新役員研修会の為に講師陣の育成。

③目的・目標の達成状況

1) 持続可能な最前線防災組織づくり

27町内会136人避難誘導班長の連絡網の完成。情報班、防火班、救出救護班。

情報班は28機の無線機を通じて非常時マニュアルによる活動の定着。

救出救護班(56名)は学区内要配慮者見守り連絡網の整備確立。

防火班(旧消化班42名)は消防組織と防火、防水、減災の連携強化中。

給水給食班は各单位防災会で町内会長を中心に災害時対策を進める。

2) 要配慮者支援計画

市危機管理室よりの名簿と、学区で承握した人達の避難個別計画表の書換えを(今年は126名)毎年民児協、福祉協、防災会で情報交換会を開催。

3) 最前線の人材育成

地域マニュアルの完成で統一された仕事別の防災役員研修会(参加83名)、

救出救護訓練(参加42名)、各14単位防災会では独自の企画で開催されて約500名の参加をみました。

4) 緊急時連絡網の構築

学区内緊急時連絡の連絡網の完成。本年も緊急時5分以内の連絡訓練を行う。

携帯と無線で、約2100世帯(現2800世帯)に伝達が出来たが少し時間がかかりました。

5) 各種団体・企業及び学区外との協働

1) 各協働団体との役割分担が明確化された。

2) 本災害の時の行政等との学区の状況連絡網の完成。

3) 避難協定を締結した、6企業団体と、連絡網で11月3日訓練を行った。

4) 本年初めて中学校区での防災協議会が開催。

情報公開

- 1) 操明ホームページで訓練・研修会等の紹介をしている。
- 2) 操明ネットワーク新聞に掲載、年四回全戸配布している。
- 3) 連合町内会役員総会で年二回報告をしている。
- 4) 紹介に対応して情報公開を行う。
本年は六回にわたり、学区外の地域の皆様と講演、研修、懇談を開催。
- 5) DVD にして訓練模様を全年度残している。

企画等

- 1) 操明地域防災マニュアルにより、新役員研修会から訓練まで連動して行う。
- 2) 単位自主防災会で独自の企画で、運営で防災訓練を行う。
地域最前線の課題を単位防災会で協議、訓練に連動。
例・一人一人違う要配慮者支援のあり方。
- 3) 学校・地域の団体・企業と緊急時連絡網(5 分以内)確認訓練。
訓練時提携先企業等の避難所見学。
- 4) 山陽学園短大と、地域マネジメント学部授業の一環として懇談会 3 回。

※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。

- 1) 単位防災会長の熱意の温度差で研修会、訓練の課題が残った。
- 2) 市の新しい方針で防災会長が増員され、既成組織との関係で
会議、連絡等経費が増大、各防災会長と相談組織のあり方を検討。

⑤ 次年度計画	※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。 1) 新役員の方と持続可能な協働組織運営。 2) 要配慮者避難訓練、見守り体制、情報交換会の充実。 3) 非常時連絡網の定着訓練。 4) 企業との提携と持続。 5) 単位自主防災会の新役員研修会開催。 6) 連合防災士の操明防災研修会の講師陣の育成。 1) 課題は出てくると思いますが、ほぼ初期の課題が解決致しました。各単位防災会と協力をして新しい課題は解決していきます。
⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。 1) 区づくり事業のおかげで初期計画は、出来上がってきたと思います。 ・ 5年間の締めくくりで総合的に研修会・訓練を実践しました。 ・ 研修会等の資料代等で経費がかさむようになりました。工夫が必要です。 2) 学区外交流を進めることで、新たな課題も出てきました。 ・ 操山より南部の膨大な人数の、災害別の避難場所、施設への経路、各施設、場所での責任者、連絡網手段、確認等課題が山積です。 ・ これらの連絡報告手段の整備を進めて行きます。 3) 無線機の扱いについて ・ 今後も災害時連絡機器とし使ってまいります。新しく 13 機購入して 27 連合町内会全防災会で情報班組織が活用できるようになりました。 4) 新役員研修会 ・ 真備町の災害から、研修会開催を 7 月実施から 5 月実施に変更。 ・ 5 月に研修、役員交代が少なかったため、人数は少なかったですが講師人の訓練には非常に良かったです。令和 2 年は多くの役員交代期で充実した内容にしたいです。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 《31年度3月審査会コメント》 1) 地域の実情に即した実効性のある防災体制への取り組みです。 ・ありがとうございます。 2) 昨年の災害により防災に対する関心は一層高まっています。頑張ってください。 ・ありがとうございます。 3) 継続して活動することが重要なので、マンネリ化しないようにしてほしいです。 ・ありがとうございます。 1) よく頑張っていて活動されていますが、必要に応じて規約の見直しなども行ってください。 ・今回の岡山市防災組織の関係でより実践的に見直しをして参ります。 《令和1年5月12日審査会コメント》 1) アンケート結果を活用して事業を進めてもらいたいと思います。 ・連合防災会三役9名でアンケートを分析して課題を決め解決に向けて進めています。 又、他団体の協力意見も求め減災推進して参ります。 2) 昨年の真備町の水害を踏まえ、情報連絡の訓練、研修会開催日の変更等の対応を行ったことは、実践的だと思います。 ・ありがとうございます。 3) 地域外団体との交流が始まったことは、高く評価できます。 ・ありがとうございます。頑張って参ります。 右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。 (理由：)	助言等の内容について、改善ができましたか。 Ⅰ できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった
--	---

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
岡山市中消防署旭東出張所	防災訓練講師
操明小学校	防災訓練・アンケート調査
国土交通省百間川出張所	訓練・研修会等パネル展示。百間川 水門見学講習会
岡山市危機管理室	防災訓練・パネル展
(株) 林原	防災訓練・緊急時連絡網
ふれあいセンター	防災訓練・緊急時連絡網
山陽病院	防災訓練・緊急時連絡網
三番消防分団	防災訓練
沖元消防分団	防災訓練
操明学区体育協会他各種七団体	ピッカピッカ作戦
山陽短期大学	地域づくり授業
操明学区民生児童委員	防災訓練
操明学区社会福祉協議会	防災訓練
操明学区交通防犯協議会	防災訓練
操明学区環境衛生協議会	防災訓練
操明学区連合町内会	防災訓練・緊急時連絡網
かけはしの会(福祉のまちづくりネットワーク)	救出救護班研修体験訓練
操明学区連合かがやきクラブ	国交省旭川出張所研修見学会
操南学区防災会。旭操学区防災会	中学校区防災交流会

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

月日	活動内容
4月	学区桜祭り。 連合自主防災会31年度役員総会(区づくり事業含む) 毎月第四日曜日、8時～防災倉庫草刈り、三役会。 学区連合町内会役員総会
5月	区づくり事業企画会議。新一年生保護者に防災アンケート調査。 学区連合自主防災会、役員変更及び研修会議。 新役員講習会の講師勉強会2回。新役員研修会。防火委員会。
6月	小学校運動会。操明学区福祉活動計画推進委員会 学区連合自主防災会会議。アンケート分析・研修会反省会
7月	災害対策本部及び避難所開設2回 笑福亭夏祭り。
8月	災害対策本部及び避難所開設 ピッカピカ作戦
9月	防災訓練企画会議。 連合役員19号台風対策会議。情報交換会。 学区体育祭
10月	学区連合自主防災会会議。 学区敬老会。防火委員会。 山陽学園大学交流会
11月	学区防災訓練。防災アンケート調査。反省会。 企画会議。中区防災講演会 操明学区福祉活動計画推進委員会 自主防災組織交流会
12月	学区クリーン作戦。 31年度事業反省会。町内会防災グッズ配布 次年度事業計画案会議 三学区防災交流会。
1月	防災倉庫備品棚卸。 要配慮者名簿の更新及び新規登録者個人避難計画作成。(情報交換会) 連合かがやきクラブ役員会
2月	学区連合自主防災役員会議、次年度事業計画。 連合町内会三役会議、各種行事との打合せ。 防災会総会資料の作成。
3月	操明学区福祉活動計画推進委員会。 ふれあいセンターふれ愛祭り、屋台出店。 操明学区理事会、次年度方針。

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	198,500	192,300	
負担金	198,500	192,301	
参加費			
寄付、他収入			
計	397,000	384,601	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
① 消耗品費	150,000	127,095	
② 食糧費	30,000	41,481	飲料代
③ 会場費	10,000		会場料
④ 印刷製本費	50,000	32,325	資料コピー代
⑤ 使用料(リース料)	142,000	155,464	トランシーバー維持費 会場賃貸料 森光宅年間使用料
⑥ 通信運搬費	15,000	26,846	電波使用料・切手代
⑦ 燃料費		1,390	f 発電機用ガソリン
計	397,000	384,601	